

重症心身障がい児施設

スマイルだより

令和5年秋号

うろこ雲が空高く広がるようになり、うだるように暑かった夏が嘘のように過ぎやすくなってきました。夏休み中は、小学生のご利用があり、久しぶりの再会に会話が弾んだり、ひと回り大きく成長した姿に感激したりとこちらも元気を頂きました。最近では、涼しくなってきたので、体調の良い日には散歩をしています。落ち葉拾いをしたり、キンモクセイの香りをかいだり、ドッグランのワンちゃんを眺めたりと五感をフルに使って楽しむ姿が見られています。室内では、4月に手形や足形の製作を嫌がって泣いていた子ども慣れてきて、進んで手や足を出すようになり、絵の具の感触にも慣れてきたように感じます。絵本や音の出る玩具も人気で、保育士や看護師の声に耳を傾けたり、一緒に表現したりと一人ひとりが自分を出せるようになってきました。これからの成長も楽しみです。季節の変わり目で、朝晩と昼間の寒暖差が大きくなる時期です。体調管理には十分に留意して過ごしていきたいと思います。



・10月に行われたスマイルの会に参加して下さいました。皆さま、ありがとうございました。今回は人数も多く、また初めて参加して下さい方もおられ、とても有意義な会となりました。「前開きの服について」と「インフルエンザ予防接種について」をテーマにトークが繰り広げられました。皆さまの日々の思いや工夫されている事など、共有できました。少しでも気持ちが元気になれる会でありたいと思っています。次回もご参加、お待ちしております。

